

# 2021 年度事業計画

(2021 年 1 月 1 日～12 月 31 日)

## 【本部関係】

### ① 総会・理事会の開催予定

第 1 回理事会：1 月 30 日

第 2 回理事会：2 月 26 日（総会直前理事会）公益目的事業報告

定時総会：2 月 26 日

第 3 回理事会：2 月 26 日（総会直後理事会）理事の役割等

第 4 回理事会：9 月 24 日 予定

### ② 刊行物・電子メディア等での発信

#### 1. 会報

第 58 号 6 月発行（定期） 内容未定。春には原稿募集開始

#### 2. 会誌

第 25 号 11 月発行（定期） 内容未定。夏には原稿募集開始

#### 3. ウェブサイト

「お知らせ」「問い合わせ」「各種届」欄などの充実、会の事業報告、会報アーカイブなど新設欄の検討、Facebook との連動強化を図る。また、会員情報や会費の扱いなどについての検討を進める。支部を含め、広く会員の投稿も積極的に推進する。

#### 4. マスメディア

今後とも、重要案件等をマスメディアに対し、積極的に情報提供していく。

#### 5. 発信体制

農学生緊急支援プロジェクトのバイト支援の一環として創設した「さっぽろ農学校リポーター」制度であるが、日常的な同窓会活動にとって重要であるため、2020 年度まで特別会計であったものを、2021 年度から一般会計に移すことも検討する。

現在のリポーター記事は好評であるが、さらに会内外への発信を重視する観点から、リポーターの増員と記事の充実を図る。

### ③ 交流・親睦事業

新年交礼会（例年 1 月開催）は本年中止された。

新入会員歓迎会（例年 3 月開催）は 3 月 25 日予定（中止された）

親睦園遊会（例年 6 月開催）は 6 月 25 日（金）を想定

元教授の会（例年 9 月開催）は 9 月 24 日（金）を想定

#### ④ 母校への助成

農学研究院・農学院・農学部への助成を行う。このうち、大学院生海外渡航は申請のあった 4 件について、計 60 万円を助成する。

このほか、卒業・修了生用学位記ケース助成、クラーク農学賞図書券助成、外国人留学生交流会助成など、必要な事業に対して助成を行う。

#### ⑤ 学会開催等への助成

学会開催助成については、申請のあった、日本土壌肥料学会北海道大会と日本応用糖質科学会年度大会・応用糖質科学シンポジウムに対し、計 30 万円を助成する。

#### ⑥ 農業農学振興事業等への参画・助成

▼親子食農体験講座「あぐり大学」（原則奇数月）と市民公開講座「時計台サロン」（原則偶数月開催）などを展開している北海道新聞編集局連携事業には、実行委員の参加、各種助成等などを行う。「時計台サロン」については、連携協議で承認されれば、道民カレッジの連携講座にも登録されるが、同事業の宣伝等にも協力する。

▼当会主催の「出張時計台サロン」は、道民カレッジの連携講座に登録し、講師料も定額であることから、道民への周知を積極的に行う。北海道銀行が全営業店舗での映像資料放映の機会を提供してくれたことから、これを積極的に活用していく。

▼新渡戸稲造先輩（1881＝明治 14＝年卒業）が遠友夜学校を開いた土地（現在の新渡戸稲造記念公園＝中央区南 4 東 4）に、「新渡戸稲造札幌遠友夜学校記念館」を建設する運動が、一般社団法人「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」の手で進められており、当会も札幌農学校の歴史と伝統を重んじる事業として寄附金を贈るなど、積極的に支えていく。2020 年度末から開始されたクラウドファンディングを含めた寄附金の取り組み、公園と記念館の整備計画の具体化取り組み等に関しても、積極的に連携・協力していく。

#### ⑦ 農学生緊急支援プロジェクト

学生院生たちの生活とバイト環境は未だ苦しい状況が続いている。新型コロナウイルスの感染に伴う生活困窮に苦しむ農学生をサポートしようと、2020 年 5 月から取り組んでいる農学生緊急支援プロジェクトについては、今後とも、必要に応じて、農学生たちへの生活支援金支給、緊急バイト雇用、バイト情報提供などを行っていく。

会員諸氏と道民からの緊急支援カンパは目的指定寄付で、特別会計扱いであるが、取り組み内容によっては、一般会計からの支出も検討する。

## 【東京支部関係】

新型コロナウイルス感染の状況を見極め行事開催形式を検討しながら、札幌農学同窓会東京支部は会員相互の交流及び知識の向上を図るため、2021年度において次の事業を行う。

### 1. 通常総会の開催

2021年2月21日(日)14時00分～、オンライン(Zoom)会議により開催の予定。

### 2. 理事会の開催

2021年2月7日(日)10時00分～、オンライン(Zoom)会議により第1回理事会を開催。今後も概ね2ヶ月毎に適宜開催する。

### 3. 講演会の開催

会員への情報提供の機会として、時宜に適したテーマによる講演会を実施する。

イ) 例年2月の通常総会後に会場に参集して講演会を行っているが、今年度はオンライン(Zoom)方式での開催とした。2月21日(日)の通常総会後に林野庁北海道森林管理局 企画課事業企画係長 平田美紗子氏(2002年森林科学科卒・2004年環境資源学専攻修了)を講師として講演会を行う。演題は『イラストを用いた森林の情報発信～日本の森の応援団を増やす!～』の予定。

ロ) 秋季に時宜に相応しいテーマで獣医学部同窓会との共催講演会を実施する。

### 4. 修了・卒業祝賀会への支部代表の派遣

3月25日(木)の修了・卒業祝賀会に石崎 英治氏(東京支部理事・2000年森林環境資源学科卒・2003年修士修了)を東京支部代表として派遣の予定(祝賀会は中止された)。

### 5. 関西支部主催「市民公開フォーラム」への支部役員派遣

毎年6月開催の「市民公開フォーラム」に東京支部役員を派遣する。

### 6. 「札幌 アルムニ レクチャー」への講師派遣

秋季開催の北大農学研究院主催「札幌 アルムニ レクチャー」へ東京支部代表の講師を派遣する。

### 7. 英文 Bushido 等の寄贈活動

農学部に進学する「新渡戸カレッジ」の学生および院生(合計約30名)を対象として、新渡戸稲造の世界的な名著である「Bushido」、内村鑑三の「代表的日本人」「後世への最大遺物」を寄贈する。

### 8. 札幌農学校普及委員会の活動

「札幌農学校」出版助成・普及頒布事業を平成29年度からは、農学部の意向とも合わせて、従来の卒業時の寄贈を改め、入学・進学時の学生、院生を対象として毎年4月に一括寄贈し、今後も同著書の普及頒布活動を継続していく。

## 9. 企画委員会の活動

講演会等の企画、講師候補者の選定、支部代表の派遣候補者を検討するための企画委員会活動を充実させる。

## 10. 情報委員会の活動

東京同窓会情報処理委員会と引き続き連携を図り、2018年度末に開設した東京支部ホームページの充実を図る。また、新型コロナウイルスの影響で当面はオンラインでの行事開催や資料の電子化等、更なるIT活用を進める必要がある為、適切な運用体制の構築を図っていく。さらに、引き続き行事案内等を利用して東京支部会員のメールアドレス登録数の拡大を目指し、郵便からメールマガジン配信への転換を順次進めていくとともに、会員名簿整備のため本部情報担当理事との打合せ等連携を強めていく。

## 11. 組織委員会の活動

支部活動の活性化は若手会員の増加が基本との考えに立って、平成卒会員と女性会員の拡充を図るよう、継続して東京同窓会主催のジングスカンパティー、クリスマスパーティー等各種行事の機会を利用して勧誘していくと共に、農学部の特徴を生かした新規行事の企画を検討していく。

## 12. 会員名簿の整備

東京支部会員について移動・消息の把握に努め、「札幌農学同窓会員名簿」の正確性強化に資する。

## 13. 懇親会

総会、講演会等の開催の機会に懇親会を行う。

# 【関西支部関係】

## (1) 通常総会の開催

2021年2月27日(土)に大阪ガーデンパレスにおいて通常総会を開催する。  
コロナ禍の中ではあるが、感染防止対策の上開催する予定である。

## (2) 講演会の開催

- 春季講演会は2月27日に本会副理事長で小樽商科大学ビジネススクールの瀬戸篤教授による「札幌農学校と起業家精神」と題する講演を行う。
- 秋季講演会は10月23日に開催する予定である。

## (3) 第16回市民公開フォーラムの開催

6月26日(土)に「コロナを超えて～人生100年時代の食と流通」をメインテーマとする市民公開フォーラムを、堺市東文化会館にて開催する予定。

## (4) 本部との連携と大学行事への協力

総会、講演会、フォーラムにおいて、本部との協力を進める。  
新入会員歓迎会への派遣。アルムニレクチャーへの講師派遣を行う。

(5) 本部会費の納入促進及び新入会員の参加促進

総会、市民公開フォーラム、講演会、懇親会の場や、案内状を送付するときを利用して新規会員の開拓と会費の納入促進を行う。また若年層や女性会員の参加を積極的に呼びかける。

(6) その他

北大関西同窓会等との協力を進め、交流の機会を作り、新しい出会いを通じて同窓会としての活動の輪を広げていく。